



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場会社名 株式会社アルテ サロン ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2406 URL <http://www.arte-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 目黒 泉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 坂口 満春 TEL 045-663-6123
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	3,465	5.0	59	△26.4	85	△11.1	8	38.1
26年12月期第2四半期	3,301	△0.8	81	△58.6	96	△55.4	5	△79.8

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 8百万円(45.8%) 26年12月期第2四半期 5百万円(△80.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	1.64	—
26年12月期第2四半期	1.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	6,889	2,192	31.8
26年12月期	6,935	2,250	32.4

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 2,192百万円 26年12月期 2,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年12月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.6	260	2.9	310	1.9	45	△36.7	8.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	5,644,000株	26年12月期	5,644,000株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

27年12月期2Q	618,843株	26年12月期	618,843株
-----------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	5,025,157株	26年12月期2Q	5,025,200株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成27年8月11日(火)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、政府による積極的な経済政策や日銀の金融緩和政策により緩やかな回復基調で推移いたしました。一方では、為替変動に伴う原材料価格への影響やユーロ圏、新興国経済の動向など景気を下押しするリスクが存在しております。

美容業界においても消費税増税後の個人消費低迷からの回復の足取りは重く、依然として来店サイクルの長期化や単価の下落等が見られ、不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、グループチェーン売上高の底上げを図るための諸施策を実施しております。

動員施策として、営業時間外にも予約が可能なWeb予約システムの活用強化やメールマガジンを活用し魅力ある情報発信を行い、新規顧客の獲得や再来顧客の増加を図っております。

一方で、人口構成の変化が進み、第2次ベビーブーム世代である40代以降の顧客層の需要を捉えることの重要性が高まっています。

このため、ヘアケア・リラクゼーション・アンチエイジングを目的としたメニューや商品販売の強化、美容室の雰囲気や対応力を重視する大人客を囲い込むための接客力強化を行っております。

また、女性の社会進出が進んでいくなかで、美容業界においてもアイラッシュ分野の市場規模の拡大が期待できることから、昨年末には株式会社ダイヤモンドアイズ「以下、DE」を子会社化しました。アイラッシュなどアイゾーンビューティの分野において、サービスの拡充を図ってまいります。

今後のブランド戦略のなかではブランドの多様化も選択肢となってまいります。そのなかで、プレステージに位置するラグジュアリーブランドとして、フランスのパリを中心に美容室を展開する「COIFFIRST」の、日本国内におけるエリアフランチャイズ権を所有する株式会社シーエフジェイ「以下、CFJ」の株式を4月に取得いたしました。グループ内のカテゴリーを、CFJが展開するプレステージサロン、株式会社アッシュ「以下、Ash」と株式会社ニューヨーク・ニューヨーク「以下、NYNY」が展開するプレミアムサロン、株式会社スタイルデザイナー「以下、SD」のメンバーシップサロンを中心に展開するカジュアルサロン、そしてSDのICH・GOを中心に展開するポピュラーサロンの4つに大別し、ヘアサロン事業を展開してまいります。

その結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループチェーンの入客数は、1,343千人(前年同四半期比103.6%)、当社グループチェーンの全店売上高合計は、8,153百万円(前年同四半期比100.1%)となりました。当第2四半期連結累計期間における当社グループの店舗数は、279店舗(Ash115店舗、NYNY32店舗、SD119店舗、DE13店舗)となり、グループにおけるFC店舗数は、222店舗(Ash94店舗、NYNY21店舗、SD107店舗)となりました。

CFJが展開する「COIFFIRST」は非連結子会社であるため、当社グループチェーンの入客数、全店売上高、及び店舗数には含まれておりません。

なお、当社グループ国内店舗279店舗のほか、海外店舗数は、代理店ブランドサロンとしてシンガポール共和国2店舗、インドネシア共和国1店舗、大韓民国1店舗、教育提携サロンとしてイギリス1店舗、合計5店舗となっております。

一昨年より、東南アジアにおいて「Naoki Yoshihara by Ash」の出店を開始し、昨年末より代理店方式としての出店としております。

アジアにおいては、相対的に日本人美容師の価値が高く、成功確率が高いと考えており、中でもシンガポールに進出したのはイギリス連邦の一員で文化や契約関係法規が整備されている事が挙げられます。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は3,465百万円(前年同四半期比105.0%)、営業利益は59百万円(同73.6%)、経常利益は85百万円(同88.9%)、スクラップアンドビルドに伴う原状回復費用等店舗閉鎖損失及び減損損失を58百万円計上したことにより、四半期純利益は8百万円(同138.1%)となりました。

(注) 連結子会社である株式会社eye love nailの全2店舗は第2四半期連結会計期間中に閉店しております。

また、同社は平成27年5月29日付で解散し、清算手続中であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、244百万円減少して2,560百万円となりました。

これは主として、現金及び預金の減少46百万円、立替金(四半期連結貸借対照表上は、流動資産「その他」で表示)の減少145百万円、未収入金(四半期連結貸借対照表上は、流動資産「その他」で表示)の減少92百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、198百万円増加して4,329百万円となりました。

これは主として、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による増加128百万円、敷金及び保証金の増加26百万円、非連結子会社株式の取得等による投資有価証券の増加22百万円によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、45百万円減少して6,889百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、425百万円減少して2,314百万円となりました。

これは主として、未払金の減少327百万円、買掛金の減少43百万円、1年以内返済予定の長期借入金の減少47百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、437百万円増加して2,382百万円となりました。

これは主として、長期借入金の増加439百万円によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加して4,697百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて、57百万円減少して2,192百万円となりました。

これは主として、配当金50百万円を実施したこと等による利益剰余金の減少57百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の32.4%から31.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、1,288百万円となりましたが、主な要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は41百万円(前年同四半期は80百万円の収入)となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益32百万円、減価償却費238百万円、立替金の減少145百万円、未払金の減少388百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は414百万円(前年同四半期は236百万円の支出)となりました。

これは主として、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出300百万円、のれんの取得による支出51百万円、敷金及び保証金の差入による支出47百万円、非連結子会社株式の取得による支出30百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は319百万円(前年同四半期は145百万円の支出)となりました。

これは主として、設備投資資金として調達したことに伴う長期借入れによる収入820百万円、返済進展に伴う長期借入金の返済による支出448百万円、配当金の支払額49百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に公表いたしました第2四半期連結累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)及び通期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては平成27年7月31日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、退店時の原状回復費用の実績に増加傾向が見られることから、店舗の退去時に必要とされる原状回復費用に関して見積りの変更を行いました。

見積りの変更による増加額を変更前の資産除去債務残高に5,543千円加算しております。

なお、当該見積りの変更による、当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,334,946	1,288,333
売掛金	498,561	515,445
商品	70,409	68,210
貯蔵品	28,942	26,904
その他	876,721	665,937
貸倒引当金	△4,208	△3,895
流動資産合計	2,805,373	2,560,936
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,207,642	5,460,288
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,674,763	△3,817,053
建物(純額)	1,532,878	1,643,235
車両運搬具	17,390	12,989
減価償却累計額	△9,992	△7,196
車両運搬具(純額)	7,397	5,793
工具、器具及び備品	970,992	1,025,429
減価償却累計額及び減損損失累計額	△793,281	△829,869
工具、器具及び備品(純額)	177,710	195,560
土地	134,200	134,200
リース資産	22,059	22,059
減価償却累計額	△2,353	△4,524
リース資産(純額)	19,705	17,535
建設仮勘定	—	3,744
有形固定資産合計	1,871,893	2,000,069
無形固定資産		
のれん	310,280	307,231
その他	151,090	135,318
無形固定資産合計	461,370	442,550
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,487,405	1,513,868
その他	316,202	415,547
貸倒引当金	△6,549	△43,026
投資その他の資産合計	1,797,058	1,886,389
固定資産合計	4,130,323	4,329,009
資産合計	6,935,696	6,889,945

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,321	64,781
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	759,917	712,448
未払金	1,487,066	1,159,294
未払法人税等	46,583	65,276
資産除去債務	8,649	22,805
その他	229,365	189,696
流動負債合計	2,739,902	2,314,302
固定負債		
長期借入金	1,549,679	1,988,840
退職給付に係る負債	62,433	69,722
資産除去債務	11,515	26,477
その他	321,844	297,858
固定負債合計	1,945,472	2,382,898
負債合計	4,685,375	4,697,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,360	324,360
資本剰余金	860,292	860,292
利益剰余金	1,320,466	1,262,564
自己株式	△254,839	△254,839
株主資本合計	2,250,278	2,192,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	368
その他の包括利益累計額合計	42	368
純資産合計	2,250,321	2,192,744
負債純資産合計	6,935,696	6,889,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,301,996	3,465,637
売上原価	2,382,180	2,485,388
売上総利益	919,816	980,248
販売費及び一般管理費	※ 838,428	※ 920,308
営業利益	81,387	59,939
営業外収益		
受取利息	1,252	1,613
受取手数料	8,923	7,509
期限到来チケット精算収入	9,890	14,016
その他	12,859	17,025
営業外収益合計	32,926	40,165
営業外費用		
支払利息	10,165	9,766
その他	7,454	4,406
営業外費用合計	17,620	14,173
経常利益	96,693	85,932
特別利益		
固定資産売却益	45	—
F C 契約解約益	10,419	68,811
受取保険金	—	34,367
特別利益合計	10,465	103,179
特別損失		
固定資産売却損	—	671
固定資産除却損	5,450	1,453
店舗閉鎖損失	36,957	37,005
減損損失	22,763	21,075
災害による損失	—	11,623
貸倒引当金繰入額	—	72,568
子会社整理損	—	12,000
特別損失合計	65,170	156,398
税金等調整前四半期純利益	41,988	32,713
法人税、住民税及び事業税	50,836	67,547
法人税等調整額	△14,826	△43,093
法人税等合計	36,009	24,454
少数株主損益調整前四半期純利益	5,978	8,258
四半期純利益	5,978	8,258

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,978	8,258
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	325
その他の包括利益合計	△92	325
四半期包括利益	5,886	8,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,886	8,584

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	41,988	32,713
減価償却費	241,585	238,584
減損損失	22,763	21,075
のれん償却額	45,201	55,461
その他の償却額	3,795	2,295
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,304	43,589
退職給付引当金の増減額(△は減少)	332	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	7,289
受取利息及び受取配当金	△1,292	△1,629
支払利息	10,165	9,766
為替差損益(△は益)	240	16
有形固定資産売却損益(△は益)	△45	671
受取保険金	—	△34,367
有形固定資産除却損	5,450	1,453
店舗閉鎖損失	10,377	12,612
原状回復費	24,728	23,342
F C契約解約損益(△は益)	△12,995	△68,811
投資有価証券評価損益(△は益)	968	1,857
災害損失	—	7,128
子会社整理損	—	12,000
売上債権の増減額(△は増加)	△28,727	△15,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,685	4,237
立替金の増減額(△は増加)	74,229	145,930
その他の資産の増減額(△は増加)	41,051	84,185
仕入債務の増減額(△は減少)	△34,658	△43,966
未払金の増減額(△は減少)	△286,214	△388,058
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,870	△65,825
その他の負債の増減額(△は減少)	△6,987	△22,302
小計	177,815	63,982
利息及び配当金の受取額	1,322	1,628
利息の支払額	△9,913	△9,522
保険金の受取額	—	34,367
法人税等の支払額	△89,185	△49,242
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,040	41,212

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△152,195	△300,924
有形固定資産の売却による収入	700	324
無形固定資産の取得による支出	△21,727	△4,516
投資有価証券の取得による支出	△70	△82
非連結子会社株式の取得による支出	△6,200	△30,324
のれんの取得による支出	—	△51,963
貸付けによる支出	△29,000	△19,640
貸付金の回収による収入	15,321	18,159
保険積立金の積立による支出	△4,029	△4,030
敷金及び保証金の差入による支出	△50,793	△47,664
敷金及び保証金の回収による収入	16,823	36,500
預り保証金の返還による支出	△15,103	△15,722
預り保証金の受入による収入	9,480	5,548
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,794	△414,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△393,845	△448,308
長期借入れによる収入	300,000	820,000
配当金の支払額	△50,008	△49,464
割賦債務の返済による支出	△1,216	△1,116
リース債務の返済による支出	△261	△1,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△145,331	319,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△302,121	△53,363
現金及び現金同等物の期首残高	1,259,911	1,334,946
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	6,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 957,790	※ 1,288,333

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。